

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 5 月 20 日現在

機関番号：12301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22520347

研究課題名（和文）アジアにおけるシェイクスピア上演アーカイブの充実と活用

研究課題名（英文）Enriching and Utilizing the Web Archive of Asian Shakespeare Productions

研究代表者

末松 美知子（SUEMATSU MICHIKO）

群馬大学・社会情報学部・教授

研究者番号：90216276

研究成果の概要（和文）：2007年より、デジタル化の進展を生かした比較演劇の研究手法確立を目指して「アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブA|S|I|A(Asian Shakespeare Intercultural Archive)」の構築を開始したが、本研究では、ウェブ・アーカイブのコンテンツ（アジアにおけるシェイクスピア上演作品映像と上演に関する資料等）と詳細な上演作品分析データ、ウェブ上の機能の充実を図った。

また、研究成果の国際的発信を行うと同時に、研究者や演劇関係者の国際的なネットワーキング形成に努め、アジアにおけるインターカルチュラルなシェイクスピア上演研究のさらなる可能性を模索した。

研究成果の概要（英文）：In 2007 we started creating a web archive of Asian Shakespeare productions, Asian Shakespeare Intercultural Archive (A|S|I|A), to promote comparative theatre studies in the age of digitalization. Since then we have improved the streaming video footage, detailed data concerning productions and digital collection of theatrical materials, and database functions.

We have also reported issues surrounding digitized Shakespeare productions at international conferences and fostered an international research network among scholars and practitioners to further develop the field of Asian Shakespeare intercultural performance studies.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	3,100,000	930,000	4,030,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：シェイクスピア、アジア、上演研究、デジタルアーカイブ

- | | |
|--|--|
| 1. 研究開始当初の背景
シェイクスピア上演研究の進展とウェブ・アーカイブによる上演研究の可能性： | |
|--|--|

シェイクスピア上演研究において、欧米に遅れをとっていたアジアでも、1990年代以降、様々な上演研究が活発に行われるようになってきた。その流れの一つとして、本研究の先行研究「アジアにおけるシェイクスピア上演アーカイブの構築」（基盤研究（C）2007-2009 課題番号19520291）は、デジタル化時代にふさわしい新たな演劇研究の可能性を探るべく、アジア諸国のシェイクスピア上演映像とそれに関わる様々な資料を一括して収録したウェブ・アーカイブ A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive) を構築した。欧米のシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブの多くは、写真や上演記録を中心としており、また、映像を収めてあっても字幕付きではない。A|S|I|Aは、アジア初のシェイクスピア上演アーカイブであるだけでなく、上演作品の映像全編に三か国語（英語、日本語、中国語）の字幕を付けた、極めてユニークなウェブ・アーカイブと言える。

A|S|I|Aに関連した研究発表や報告を国内外の学会で行った際、このウェブ・アーカイブのコンテンツをさらに充実させ、シェイクスピア上演研究と教育にさらに貢献する要請を受けたことを契機に、本研究は開始された。

2. 研究の目的

本研究は、アジアにおけるインターカルチュラルなシェイクスピア上演研究の核となるウェブ・アーカイブ A|S|I|A のコンテンツと機能をさらに充実させ、日本とアジア諸国、アジア諸国と世界のシェイクスピア上演の比較研究及び教育を発展させることを目的とした。

また、インターカルチュラルな比較演劇研究に不可欠な演劇研究者の国際的なネットワーク強化もめざした。

3. 研究の方法

(1) 国際共同プロジェクトチームによる共同作業

アジアにおけるシェイクスピア上演ウェブ・アーカイブ構築という大規模な国際プロジェクトを一国の研究者のみで実行することは困難であるため、アジア演劇のプロジェクトを計画中の次の機関と協力し、国際共同プロジェクトとしてアーカイブの充実と活用を行うこととした。

- ・ シンガポール国立大学（シンガポール）
- ・ Soonchunhyang University 順天郷大 学校（大韓民国）

(2) アーカイブコンテンツと機能の充実

日本、台湾、中国、韓国、シンガポール等の東南アジアにおけるシェイクスピア上演の作品映像資料とその著作権の獲得、プログラム等の上演に関する資料収集、各上演の詳細な分析データ作成、コンテンツのデジタル化を継続して行った。

(3) 研究集会の開催と研究成果の国際的発信

国際共同プロジェクトチームによる定期的な研究集会を開催し、アーカイブコンテンツの充実とその活用方法等について検討した。

また、国内外の学会で、A|S|I|A構築の進行状況を報告するとともに、ウェブ・アーカイブを利用した上演研究の意義や問題点、活用事例等について報告した。

4. 研究成果

(1) アーカイブコンテンツの充実

ウェブ・アーカイブ A|S|I|A は、主に、シェイクスピア上演作品映像資料と上演作品の詳細な分析データ（メタデータ）から構成されている。

2012年3月までに、日本、台湾、中国、シンガポール、韓国、マレーシアの劇団より計51作品の上演映像及び著作権を取得した。そのうち、34作品は既にウェブ上での上演映像及び分析データの公開が終了しており、残り17作品はデータ分析の終了後、2013年7月に公開予定である。

現在ウェブ・アーカイブ A|S|I|A で公開している主な上演作品は以下の通りである。

[日本]

『アテネのタイモン』、シェイクスピア・シアター、出口典雄演出、(1996年)

『真夏の夜の夢』、劇団昴、三輪えりか演出、(2006年)

『ハムレット』、りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピア、栗田芳宏演出、(2007年)

『ク・ナウカで夢幻能なオセロー OTHELLO』、ク・ナウカ シアターカンパニー、宮城聡演出、(2007年)

『シンベリン』、子供のためのシェイクスピアカンパニー、山崎清介演出、(2008年)

[韓国]

『コリオレーナス』、Hwadong Theatre Company、LEE Hyon-u (演出)、(2005年)

『麻浦の黄富者』、劇団ミチュウ、ソン・ジンチュク演出、(2005年)

『ロミオとジュリエット』、劇団木花、オ・テソク演出、(2005年)

[中国]

『大將軍コー・リウラン (寇流蘭)』、北京人民芸術劇院、リン・ツァオファ (林兆華) 演出、(2007年)

『欲望の王国』、当代伝奇劇場、ウー・シンクォ (呉興国) 演出、(1986-2010年)

[シンガポール]

『リア』、国際交流基金、オン・ケンセン (王景生) 演出、(1997年)

『サーチ：ハムレット』、Theatre Works、オン・ケンセン (王景生) 演出、(2002年)

[マレーシア]

『マヨン ティティス・サクティ 魔法のしずく』、Actors Studio、Norzizi Zulkifli 演出、(2009年)

(2) 研究成果の国際的発信と国際的なネットワークワーキング

①研究集会・報告会の開催

科研プロジェクトチーム (群馬大学、名古屋市立大学)、シンガポール国立大学プロジェクトチーム、大韓民国 Soonchunhyang University (順天郷大学校) チームは、以下の通り共同で定期的に研究集会や報告会を開催し、アーカイブコンテンツの充実と活用方法を検討した。また、比較上演研究に関する情報交換も行った。

・2010年6月 シンガポール国立大学においてコンテンツと機能の充実を目的に、打ち合わせ及びワークショップを実施した。

・2011年6月 プラハのカレル大学で開催された第9回国際シェイクスピア学会のパネル・セッションで、A|S|I|A構築の報告と活用研究事例の報告を行った。

・2012年6月 国立台湾大学主催の第6回台湾シェイクスピア学会で A|S|I|A 活用事例報告のワークショップを実施した。

②研究成果の発信と国際的なネットワーク

国内外の学会で A|S|I|A 構築状況を報告するとともに、ウェブ・アーカイブを利用した上演研究の意義や問題点について意見交換を行った。(発表の詳細については、5. 主な発表論文等の [学会発表] の項参照。)

(3) 成果の位置づけ

MIT の *Global Shakespeares* やケンブリッジ大学出版局の *Cambridge World Shakespeare Online* 等シェイクスピア上演に関するデジタルアーカイブの構築が進む

中、ウェブ・アーカイブ A|S|I|A にも国内外の学会から高い関心が寄せられた。

シェイクスピア上演研究及び教育におけるウェブ・アーカイブ活用事例の報告要請により、前述の通り、第9回国際シェイクスピア学会、第6回台湾シェイクスピア学会の招聘を受けて研究報告やワークショップを行った。今後も A|S|I|A プロジェクトチームに、インターカルチュラルな比較上演研究・教育の分野での先駆的な成果の発信が期待されていると言える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

① Michiko Suematsu, Kaori Kobayashi, Asian Shakespeare Intercultural Archive (A|S|I|A): A Collaborative Digital Project, *Shakespeare Review* (The Shakespeare Association of Korea), Vol. 45, No.1, 2010, 23-34 (査読有)

[学会発表] (計 9 件)

① Kaori Kobayashi, When the East meets the West: Shakespearean Productions by Travelling Companies in Asia, The 2nd International Conference on Linguistics, Literature, and Culture 2012, 2012.11.9 (ペナン: マレーシア)

② 末松美知子, 言語的表象にみる日本のシェイクスピア上演の特色 - A|S|I|A (Asian Shakespeare Intercultural Archive) を活用して、第51回日本シェイクスピア学会、2012.10.13、秋田大学

③ Michiko Suematsu, Kaori Kobayashi, Asian Shakespeare Intercultural Archive (A|S|I|A) - A Digital Project for Developing Research and Pedagogy in Asian Shakespeare Performance, The 6th Conference of the NTU Shakespeare Forum, 2012.6.8, 国立台湾大学(台北: 中華民国)

④ Kaori Kobayashi, Asian Shakespeare Intercultural Archive (A|S|I|A): A New Digital Project for Developing Research and Pedagogy, The 5th Biennial British Shakespeare Association Conference, 2012.2.25, ランカスター大学 (ランカスター: 連合王国)

⑤ Michiko Suematsu, パネル・セッション:
Asian Shakespeare and Intercultural
Performance, “Intracultural/Intercultural
Strategies of Modern Japanese
Shakespeare”, The 9th International
Shakespeare Congress, 2011.7.16, カレル大
学(プラハ: チェコ共和国)

⑥ Kaori Kobayashi, パネル・セッション:
Asian Shakespeare and Intercultural
Performance, “Intercultural Shakespeares
in Asia: Tsubouchi Shoyo’s Production of
Hamlet in 1911”, The 9th International
Shakespeare Congress, 2011.7.16, カレル大
学(プラハ: チェコ共和国)

⑦ Michiko Suematsu, Kaori Kobayashi,
セミナー: Shakespeare and
Next-Generation Open Web Technology,
“Asian Shakespeare Intercultural Archive
(A|S|I|A): A Collaborative Digital Project
A Digital Project”, 第49回シェイクスピア学
会2010.10.17, 福岡女学院大学

⑧ Michiko Suematsu,
Metadata of A|S|I|A (Asian Shakespeare
Intercultural Archive), International
Workshop on Digital Archive, 2010.6.11,
シンガポール国立大学(シンガポール共和国)

⑨ Kaori Kobayashi,
Copyright acquisition of A|S|I|A (Asian
Shakespeare Intercultural Archive),
International Workshop on Digital Archive,
2010.6.11, シンガポール国立大学(シンガポ
ール共和国)

[その他]
ホームページ
ウェブ・アーカイブ A|S|I|A (Asian
Shakespeare Intercultural Archive)
公開 URL : <http://www.a-s-i-a-web.org/>

新聞報道
「面白い! アジア版シェイクスピア劇: 研究

者ら 35 作品を DB 化」『中日新聞』(2013 年 4
月 9 日)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

末松 美知子 (SUEMATSU MICHIKO)
群馬大学・社会情報学部・教授
研究者番号: 90216276

(2) 研究分担者

小林 かおり (KOBAYASHI KAORI)
名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・
教授
研究者番号: 40308820

(3) 連携研究者

海外共同研究者
ヨン・リーラン (Yong Li Lan)
シンガポール国立大学・文学部・准教授

ヒョンウー・リー (Hyon-U Lee)
順天郷大学校 (大韓民国)・文学部・教授